4　（　年　月　日から
　　年　月　日まで）　連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株主資本							その他の包括利益累計額					株式引受権	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	危機対応準備金	特別準備金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計				
当期首残高	××	××	××	××	××	△××	××	××	××	××	××	××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××
当期変動額																
新株の発行	××			××			××									×× ××
剰余金の配当					△××		△××									△×× ××
親会社株主に帰属する当期純利益					××		××									×× ××
自己株式の処分						××	××									×× ××
・・・ ・・・																×× ××
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								××	××	××	××	××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××
当期変動額合計	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××
当期末残高	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	△ × ×	× ×	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××	×× ××

（記載上の注意）

1　法令等に基づき、この様式に掲げる科目以外の科目を掲げる必要が生じたときは、その性質に応じて適切な名称を付し、適切な場所に記載すること。

2　変動事由及び金額の記載は、概ね連結貸借対照表における記載の順序によること。

3　株主資本以外の科目については、連結会計年度中の変動額を、変動事由ごとに記載することができる。

4　その他の包括利益累計額は、科目ごとの記載に代えてその他の包括利益累計額の合計額を、当連結会計年度期首残高、連結会計年度中の変動額及び連結会計年度末残高に区分して記載することができる。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。

5　その他の包括利益累計額及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

6　連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則第77条から第80条までの規定に従い注記すること。

7　遡及適用、修正再表示又は当該連結会計年度の前連結会計年度における企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行った場合には、当期首残高に対する累積的影響額及び当該遡及適用、修正再表示又は当該連結会計年度の前連結会計年度における企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の後の当期首残高を区分表示すること。

5　（　年　月　日から
　　年　月　日まで）　連結キャッシュ・フロー計算書

〔直接法により表示する場合〕　（単位：百万円）

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金回収による収入	
預金払出による支出	
貸付金利息収入	
預金利息支出	
債券利息支出	
営業経費支出	
……	